

ばんどう文芸

短歌

今井 清 選

淡雪の如く乾いた悲しみを残して姑が今朝旅に出る 長 須 藤井 久子
 助土席に差し込む光を手庇に望めば遙か菜花帯なす 沓 掛 木村 愛子
 何処に住むいとこの今を案じてた兄に手向ける元気でいたよ 矢 作 富山 節子

過ぎし日の大風かせに倒れし木の株を囲みて青い小花咲きおり 矢 作 富山 久美子

ぼんぼんと帯を叩きて高座に上る夫は素人市民落語家 中 里 直井 正子

見上げれば木々の若芽の清々し木漏れ日の中坂上り切る 長 須 鈴木 夫佐

老いといふ齡に気づき振り向けば悔ゆることのみ数多かりき 沓 掛 倉持かよ子

コロナ禍に折角の帰国相ならず孫もがっかり爺も残念 内 野 山 木村 仁

はじめての冬を迎えしみどり児に毛布かけやる起こさぬように 駒 躰 内海 妙子

この道は歌人佐千夫を長塚が労わりながら過ぎし南木原なぎばら 平八新田 吉岡 耿

曾祖母に仕草教えてセクシーと笑い転げる四歳の孫娘 長 谷 荒井 勝

道の辺に寒さの中を草は萌え風に吹かるるホトケノザ見ゆ 山 栗原ヤエ子

孫たちのうるさい声を避けむとし春の日差しひかりの居場所を探す 幸田新田 大澤千代子

【評】一首目、淡い悲しみと詠っているが、姑の安らかな往生を表している
 しみじみとした歌。外には早春の雪も降っていたであろう。二首目、車の中
 での光景で動きの中で花見をしている視点がよい。驚嘆している様子が目に
 浮かぶ。三首目、いとこが見つかると兄の仏前に話しかけている作者の
 心情が手際よく纏めている。四首目、古株を労わるように早春の花たちが
 咲いている光景は象徴的である。五首目、作者の家族を覗き見できるのも
 歌を読む楽しさのひとつ。六首目、結句がよい。高齢者の行動が目に浮かぶ。
 ※3月号掲載の一首目の作者名に誤りがありました。正しくは倉持かよ子さんです。
 お詫ひして訂正します。

短歌の作品を募集します！

皆さんからの短歌を広く募集します。投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号
 を記入し、掲載希望月の前月20日までにばんどう文芸編集部にお送りください。

選者 今井 清 〒300-0604 幸田新田4-3-5 ☎029(07)3333(200)064

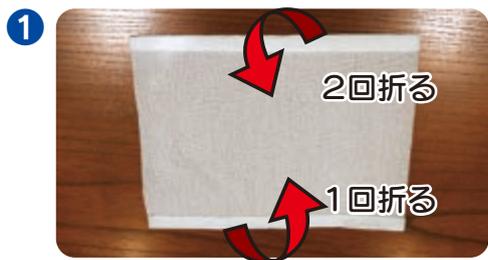
使い捨てマスクがない場合 (つばなど飛沫を防ぐため) キッチンペーパーを使ったマスクの作り方の例

《材料》

- ・キッチンペーパー
- ・両面テープ ・ホチキス
- ・マスキングテープ
(サージカルテープ等でも可)
- ・マスク用ゴム 30～33cm
(平ゴム・ヘアゴムで代用可)



できあがり図



キッチンペーパーの上下に両面テープを貼り、折込みます。



ヒダが下を向くようにして、じゃばらに3回折ります。



裏返し、ゴムを両側にはさみ込みマスキングテープでとめます。



ゴムを輪っかにし、ホチキスでとめます。ホチキスの針が肌に当たらないよう、とめたところをキッチンペーパーの中に引き込み、完成です。